

## medical B. I. G. net の現況について

2015 年から二次保健医療圏単位で地域医療構想の策定が始まり、政府も本腰を入れて地域包括ケアシステムの構築に取り掛かりました。これに関連して平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町の湘南西部二次保健医療圏における医療の現状が明らかにされました。

それによると、当地域では急性期医療の自己完結率は 90%以上と県内でも飛びぬけて高いが、急性期医療終了後の転出転院が滞っており、在院日数も他の医療圏に比して長く、また、各病院の転出転院担当者の業務負担が大であることが明らかとなりました。

この課題を解消すべく、急性期病院⇔慢性期病院、病院⇔介護施設、病院⇔在宅診療所間の情報共有を容易にして退院を促進すべく、湘南西部病院協会として medical B. I. G. net (B:病院協会、I:医師会、G:行政) 構想を提案し、神奈川県から補助金を得て、2019 年度から医師会・保健所・県医療課と調整を重ね、2020 年度から本格稼働することになりました。

本システムは患者の個人情報を守りつつ、インターネットを介して転出転入担当者の施設情報把握に資するものです。患者に必要な医療・介護内容を提供できる施設を、住所からの距離を指定しワンクリックで検索し折衝するもので、検索時間や折衝時間を効率化できます。また、介護施設からも病院検索が可能となっています。

各医師会や各行政区の枠を越えた事業は初めての試みであり、現状では事務局活動能力の限界もあり、初年度は以下の 8 区分に限定して確実にスタートし、その後申し出のある介護系の各サービス区分に拡大することを考えている次第です。

## 《初年度参加を募る施設（サービス区分）》

病院、医科診療所、有料老人ホーム（介護付）一般型、有料老人ホーム（住宅型）、サービス付き高齢者向け住宅（介護型）、ショートステイ（福祉）、ショートステイ（医療）老人保健施設

2020年2月  
湘南西部病院協会顧問  
medical B.I.G. net 事務局長  
丹羽明博

2020年1月末頃よりテスト稼働開始

<参加施設> ※2020年2月末時点

病院数 20、診療所数 7、介護事業所 22、その他（自治体など） 4

※湘南西部病院協会加盟病院が全て参加